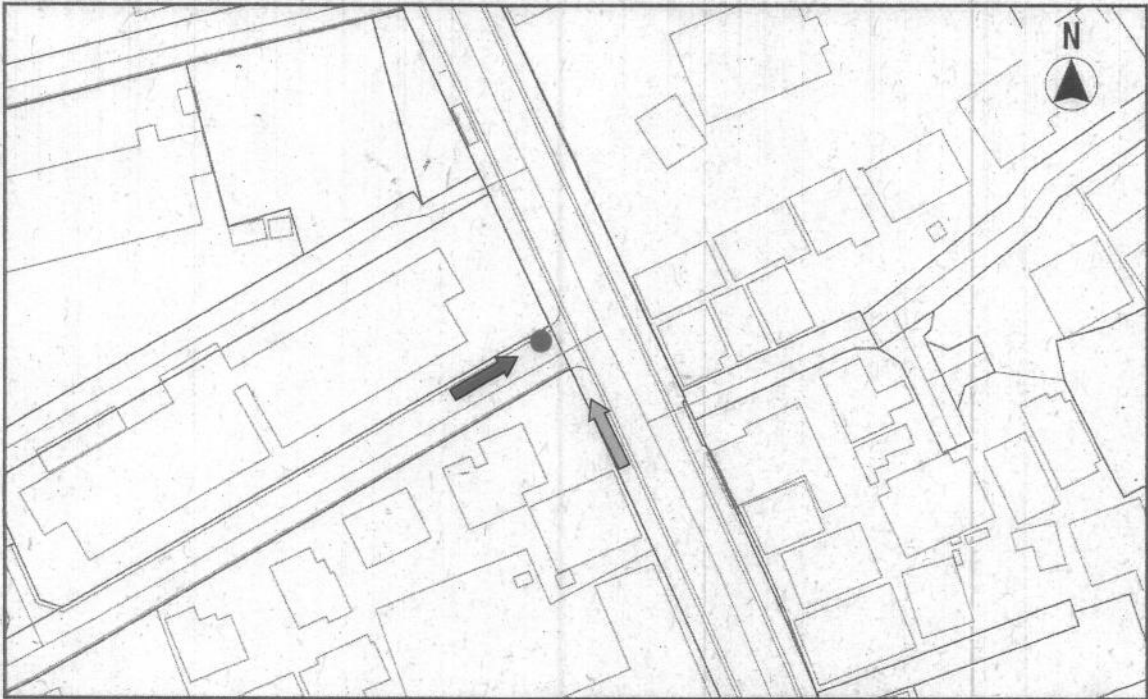


要回覧

歩道用カーブミラー（1面鏡）の設置について


下記の交差点において、歩道用カーブミラーの設置を検討しております。

歩道用カーブミラーは自動車が右側歩道の歩行者や自転車を確認するための施設であり、見通しが良くなる反面、「死角に歩行者や自転車が入ると鏡に映らない」「車の通過速度が上がる」「車が交差点で一時停止をしなくなる」等のデメリットがあります。



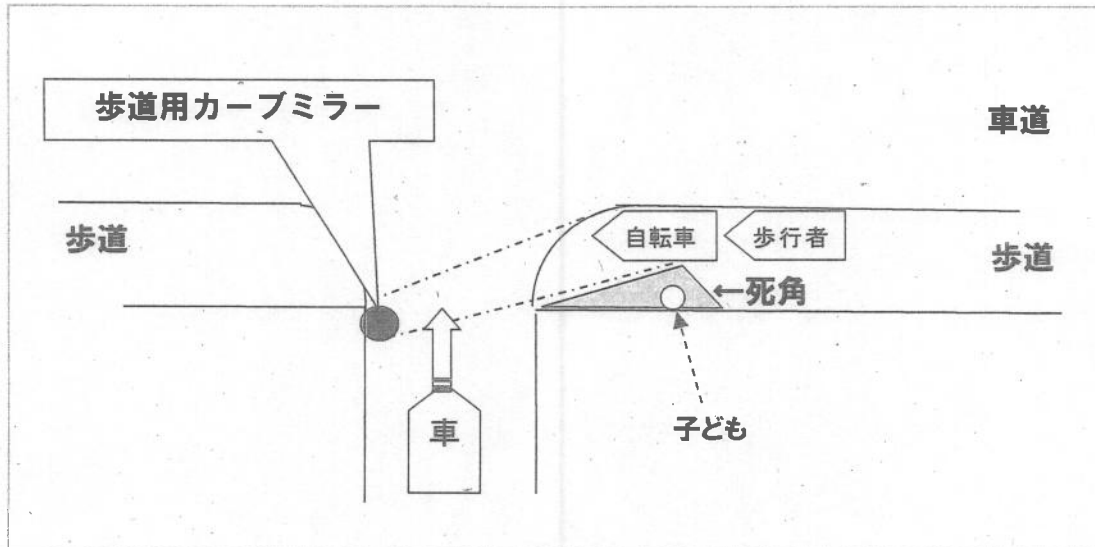
歩道用カーブミラーの設置の是非について、皆様でご検討いただきますようお願いいたします。（別添資料「歩道用カーブミラー設置におけるメリット・デメリット」もご参照下さい。 【周辺地図：金森2丁目23-2 付近】（イメージ図）



※  から来る車が  から来る歩行者や自転車を確認するための補助施設です。

要回覧

歩道用カーブミラー設置におけるメリット・デメリット



メリット

- 車の運転者がカーブを曲がる前にカーブの先の状況が把握でき、衝突する可能性のある物体に気づくのが遅れる「発見の遅れ」を解消できます。
- 歩道用カーブミラーの支柱がオレンジ色で目立つこと、かつ支柱に「注意」のシールも貼付されるため、注意喚起を促す効果が得られます。

デメリット

- 歩道用カーブミラーは車が歩行者や自転車を確認するための施設であり、歩行者や自転車が映りこまない死角があります。
- 歩道用カーブミラーに映っていないと、車が通過速度を緩めずに交差点に進入してしまい、死角から出てくる自転車や歩行者の発見が遅れることがあります。
- 鏡に映して状況を確認するため、左右が逆に映り誤認をまねきやすく、また、遠近感をつかめないという特性があります。